

# 収支予算書(案)

(正味財産増減計算ベース)

一般社団法人 日本生殖医学会

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2018年度予算(A)	2017年度予算(B)	増減(A)-(B)	2018年備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1.経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
<b>受取会費</b>	<b>54,400,000</b>	<b>54,178,000</b>	<b>222,000</b>	
正会員会費	54,000,000	53,778,000	222,000	会員数5,000名、納入率95%(4,700名)として試算 医師会員¥12,000×3,500(全体の74%)=¥42,000,000 医師以外会員¥10,000×1,200(全体の26%)=¥12,000,000
賛助会員会費	400,000	400,000	0	
<b>事業収益</b>	<b>86,085,000</b>	<b>98,482,000</b>	<b>▲ 12,397,000</b>	
生殖医療従事者講習会受講料	8,400,000	7,500,000	900,000	1回平均280名×3回×受講料¥10,000
専門医受験料	2,000,000	1,940,000	60,000	対象専攻医156名、前年度不合格者18名、合計174名中約60%(100名)が受験するとして試算。(受験料¥20,000)
専門研修開始登録料・専門医登録料	4,600,000	5,530,000	▲ 930,000	研修開始登録料:年平均100名×¥5,000=¥500,000 新規合格者:100名のうち70%合格と想定。70名×¥50,000=¥3,500,000 更新登録者:35名中30名程度と想定。30名×¥20,000=¥600,000 *更新となる2014年度認定者は認定試験がなかったため、更新者少ない。
専門医コーディネーター登録料	125,000	110,000	15,000	新規10、更新15×5000円と想定
専門医ブローチ	32,000	32,000	0	実績勘案
生殖医療の必修知識	7,200,000	12,840,000	▲ 5,640,000	600部×12,000円 期首残高1400部、期中制作0部 期中売却600部、期末残高800部 *2017年度2017年度版売上:約700冊
機関誌購読料	1,000,000	1,000,000	0	実績勘案
機関誌広告料	1,700,000	1,700,000	0	実績勘案
機関誌広告料RMB	400,000	400,000	0	バナー20万x2社
ホームページ広告料	200,000	200,000	0	
学術講演会開催収入	56,928,000	63,730,000	▲ 6,802,000	63回収支予算より
日本受精着床学会負担金収入	2,500,000	2,500,000	0	
日本アンドロロジー学会負担金収入	1,000,000	1,000,000	0	
<b>受取補助金等</b>	<b>1,137,000</b>	<b>1,137,000</b>	<b>0</b>	
学術奨励費	1,137,000	1,137,000	0	表彰状作成費実費分差額
<b>雑収益</b>	<b>25,000</b>	<b>25,000</b>	<b>0</b>	
受取利息	25,000	25,000	0	
<b>経常収益計</b>	<b>141,647,000</b>	<b>153,822,000</b>	<b>▲ 12,175,000</b>	
<b>(2) 経常費用</b>			<b>0</b>	
<b>事業費</b>	<b>113,447,319</b>	<b>110,949,872</b>	<b>2,497,447</b>	
庶務委員会費	800,000	1,400,000	▲ 600,000	代議員選挙システム運用費▲60万円
会計委員会費	50,000	50,000	0	
渉外委員会費	2,000,000	2,000,000	0	昨年度と同様
学術委員会費	100,000	100,000	0	昨年度と同様

科 目	2018年度予算(A)	2017年度予算(B)	増減(A)－(B)	2018年備考
編集委員会費	1,600,000	1,900,000	▲ 300,000	事務委託費にあたる金額(110万円)を削除。HTMLメール配信準備費用60万円+委員会交通費を見直し(50万×2回)
広報委員会費	30,000	570,000	▲ 540,000	事務委託費にあたる金額(54万円)を削除。
倫理委員会費	350,000	350,000	0	昨年度と同様
将来計画検討委員会費	100,000	150,000	▲ 50,000	▲5万円
社会保険委員会費	100,000	100,000	0	昨年度と同様
専門医資格制度委員会費	9,000,000	12,800,000	▲ 3,800,000	事務委託費にあたる金額(380万円)を削除
日本医学用語委員会費	30,000	30,000	0	昨年度と同様
学術講演会開催費	49,932,228	40,360,159	9,572,069	63回収支予算より(市民公開講座含まず)
学術奨励賞副賞費	1,137,000	1,137,000	0	賞金、記念品等製作費含
RMB優秀論文賞副賞費	205,000	205,000	0	賞金、記念品等製作費実績勘案
IFFS会費	140,000	140,000	0	\$ 1,000USD レート実績勘案
ICMART援助金	360,000	360,000	0	\$ 3,000USD
外保連会費	400,000	400,000	0	
内保連会費	200,000	200,000	0	
日本医療安全調査機構会費	100,000	100,000	0	
日本医学会連合会費	300,000	300,000	0	基本5万円+会員数5000×50円として勘案
ブロック支援費	2,500,000	2,500,000	0	各ブロック30万円補助×8+会員数5000×20円として勘案
期首商品棚卸高	9,182,600	263,413	8,919,187	期首在庫1400冊×¥6,559
生殖医療の必修知識製作費	2,065,800	15,800,000	▲ 13,734,200	固定費:制作・重版の予定なし 変動費:600部×¥3,443
期末商品棚卸高	▲ 5,247,200	▲ 6,975,000	1,727,800	期末在庫800部×¥6,559(固定費)
機関誌印刷費	7,130,000	7,130,000	0	実績勘案
機関誌発送費	2,000,000	2,000,000	0	実績勘案
ホームページ事業費	1,200,000	2,000,000	▲ 800,000	例年通りに変更(アーカイブ化終了)
資料作成費	500,000	500,000	0	実績勘案(各部委員会へ経費移動)
事務委託費	14,774,400	12,674,880	2,099,520	税抜き¥13,680,000 事業費と管理費で配分。
編集会議費RMB	150,000	150,000	0	
冊子印刷費RMB	300,000	300,000	0	100冊冊子体作成 Wiley契約
招待論文出版RMB	1,650,000	1,650,000	0	投稿数が50編を超過した場合、1件ごとに1250USD×年間平均12編で勘案 1ドル110円計算 Wiley契約
旅費交通費RMB	130,000	130,000	0	
通信運搬費RMB	30,000	30,000	0	法人会員用等 100冊発送(13230円程度)他
消耗品費RMB	30,000	30,000	0	
印刷製本費RMB	100,000	100,000	0	
オンライン出版費RMB (APC)	7,500,000	7,500,000	0	Wiley契約
編集事務局費RMB	1,000,000	1,000,000	0	Wiley契約(投稿100件まで)
雑費RMB	20,000	20,000	0	
会場費(市民公開講座)	207,852	102,300	105,552	63回収支予算より
講演者謝金(市民公開講座)	425,639	540,000	▲ 114,361	63回収支予算より
旅費交通費(市民公開講座)	226,800	162,000	64,800	63回収支予算より
広告宣伝費(市民公開講座)	313,200	344,520	▲ 31,320	63回収支予算より
通信費(市民公開講座)	108,000	108,000	0	63回収支予算より
雑給(市民公開講座)	0	21,600	▲ 21,600	63回収支予算より

科 目	2018年度予算(A)	2017年度予算(B)	増減(A)－(B)	2018年備考
雑費(市民公開講座)	216,000	216,000	0	63回収支予算より
<b>管理費</b>	<b>24,027,760</b>	<b>36,480,625</b>	<b>▲ 12,452,865</b>	
事務委託費	7,128,000	6,765,120	362,880	税抜¥6,600,000
理事会幹事会監事会会議費	4,900,000	4,900,000	0	実績勘案
總會諸経費	450,000	450,000	0	実績勘案
旅費交通費	100,000	100,000	0	
通信運搬費	350,000	350,000	0	
器具備品費	50,000	50,000	0	
消耗品費	300,000	300,000	0	
慶弔費	30,000	30,000	0	
租税公課	1,600,000	4,000,000	▲ 2,400,000	
データベース管理費	680,400	680,400	0	
データベース改修費	500,000	500,000	0	
管理諸費	1,500,000	1,500,000	0	
減価償却費	42,320	42,320	0	
雑費	1,500,000	1,500,000	0	
研究助成金	4,897,040	15,312,785	▲ 10,415,745	
経常費用計	137,475,079	147,430,497	▲ 9,955,418	
評価損益等調整前当期経常増減額	4,171,921	6,391,503	▲ 2,219,582	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	4,171,921	6,391,503	▲ 2,219,582	
2.経常外増減の部			0	
(1)経常外収益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	4,171,921	6,391,503	▲ 2,219,582	
II 指定正味財産増減の部			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
III 当期正味財産増減額	4,171,921	6,391,503	▲ 2,219,582	

(注1)収支予算書は、「公益法人会計基準」及び「特例民法法人が新制度移行前に平成20年度基準を採用する場合の指導監督等について(通知)」(府益担第75号 平成21年3月27日)により、損益ベースで作成しています。そのため、繰越収支差額は表示しておりません。